

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (v2.7.2016) | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	港区名港一丁目賃貸マンション	階数	地上11F
建設地	愛知県名古屋市長区名港一丁目302-1、302-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年3月19日
敷地面積	525 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	284 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月19日
延床面積	2,579 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

= BEE<sub>0</sub>

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値, ②建築物の取組み, ③上記+②以外の, ④上記+オフサイト手法

排出量: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境: Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能: Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内): Q3のスコア= 2.2

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー: LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル: LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境: LR3のスコア= 2.9

Q のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
大きな道路から入った静かな環境の角地である。見通しも良く、敷地境界はネットフェンスにし、防犯カメラも設置して防犯性にも優れている。	特になし	
Q1 室内環境 外皮性能等級4である。採光性が高く、自然換気性能も優れている。	Q2 サービス性能 居室面積・高さについては十分とり内装仕上げ材、空調、給排水管の更新必要間隔にも配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 外皮性能等級4、BEI=0.93である。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性向上への取り組みとして躯体と仕上材が容易に分別可能としている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐輪場、駐車場を確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

港区名港一丁目賃貸マンション

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR1	エネルギー	3.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>1.3</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>2.8</b>
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

### 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 3.3
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 1.3
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 2.8

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。